

# ゆうこうのいえ通信 Vol.6

発行:

発達・心理相談センター  
「ゆうこうの家」

名古屋市天白区表山1-1753-2

電話 052(880)7704

「ゆうこうの家」は、発達障がいを始めとする障がいや、こころの問題をもつ人々に対し、療育やカウンセリングを中心とした支援活動を行い、より健やかで豊かな成長と、社会への適応を支援することを目的としています。「ゆうこうの家」通信は職員や利用者の家族の編集・取材・協力により不定期に発行しています。利用者の方、これから御利用を考えていらっしゃる方の参考になりましたら幸いです。

昨年2014年度もゆうこうの家ではたくさんの恒例のイベントがありました。また、新たに始めた活動も今回紹介していきます。

☆≡ ☆≡ ☆≡ ☆≡ ☆≡

まず、一番残念だったことは、ゆうこうキャンプin若狭湾が、台風のため中止となったことです。当日の朝まで、迷いに迷い、今回は断念することにしました。

もし決行した場合、台風とともに福井県にバスで行くことになり、また、台風の影響で、海の活動がほとんどできなかったと思います。もちろん雨天時のプログラムも事前に予定はしていましたが、安全を第一に考えての決断でした。来年は泳ぎ尽くすぞ〜という気持ちになりました！



## 女子会



前年にひきつづき、5月25日(日)には、女子会を実施しました。今回の女子会では、小学低学年から中学生まで7名が参加。内容は、カバンの飾り付けやお菓子作りを中心に行いました。



カバンの飾り付けでは、シンプルなデザインから華やかなものまで、子どもによって実に様々。どれも女の子らしいピンクの装飾が目立ちました。

昨年度は、不定期の日曜日の女子会と、定期的なグループリリーを並行して開催しましたが、定期的なリリーの方に参加者が増えている傾向にあるため、今後は、リリーに一本化して、より女の子のグループ活動を充実させていけるように努めていきたいです。



## 就労実習

6月15日(日)と10月19日(日)には、小中学生を対象に就労実習を行いました。6月は15名、10月は19名の参加です。就労実習も、ゆうこうの家の年間行事として、すっかり定着してきました。子どもたちも何度も参加していくうちに、3時間の実習にだいぶ慣れてきたように思います。



## お泊り会in大高

7月25(金)~27日(日)にかけて、名古屋市青少年宿泊センターを借りて、お泊り会を行いました。これは小学生4年生以下限定、18名の参加です。近くの大高緑地公園でプール、ゴーカート、ベビーゴルフなど、公園内散策など様々な活動を楽しみました。

また、センター内での室内レクリエーションでは工作活動やSSTゲームなど、みんなで協力する活動にも多く取り組み、夜には、スイカ割りや花火など、盛りだくさんの日々を過ごしました。

毎回思うことですが、活動ではなく休憩時間の部屋でのトランプを楽しんでいる子どもが多いように思われます。寝食をともにして、子どもだけではなくスタッフとも、とても仲良くなれたのではないのでしょうか。





# 教育講演会

11月16日(日)に、吹上ホールにて、教育講演会を行いました。今回は30名の方にご参加いただきました。講師に太白区障害者基幹相談支援センター相談支援専門員の石邨桂子先生をお招きして、『子どもの発達と制度利用について』～発達障害の子どもが利用できる福祉サービスとは～、についてご講演いただきました。

さすが、福祉の専門家であって、福祉制度からライフステージに応じた福祉サービスの利用まで丁寧に教えていただき、非常に勉強になる講演会でした。

## あらたな取り組み

昨年度の活動内容の特徴として新しく3つの教室を実施してみました。その内容を紹介します。

### 良さを実感【保護者ヨガ教室】

まず、8月8日(金)と12月26日(金)に、保護者ヨガ教室を実施しました。外部から(と言ってもゆうこうの関係者だったりします)ヨガの先生をお招きして実施です。日々の忙しさにお母さんたちは大変疲れています。その疲れを癒す効果があるヨガを格安で開いていただきました。

参加者は2回とも2名とやや寂しい人数でしたが、8月に参加した2名の方が、リピーターとして12月も参加してくださいました。一度体験していただくと、その良さを実感していただけたと思います。



### 集中できた【自主学習教室】

7月31日(木)夏休み真っ最中に、自主学習教室を実施しました。5名の小学生が学校の宿題や習い事の勉強などを持参しての参加です。スタッフも補助はしますが、自習する環境が整うと、皆集中してやるべき課題に長時間取り組み続けることができたのです。保護者の方たちからは、「こんなにやったんですか?」、「家だと全然進まないのに!」、「夏休みの宿題が終わった!」など、大変な驚きと喜びの声をいただきました。子どもたちに自習させるということの大切さを改めて感じさせられた学習教室でした。

### 伸び伸び表現【絵画教室】

そして、9月28日(日)には、絵画教室です。今回は、外部から講師を招いて指導いただきました。8名の小中学生の参加です。独創的な世界観を描きだす子、アニメのキャ



クターを上手に描いてみせる子など、学校の図工の時間では中々描くことのできない絵を自由に描ける時間をとても楽しんでいるようでした。講師の先生も、子どもの自発性や自由な発想で表現することを重視して指導にあたってくださいましたので、皆、伸び伸びと筆を動かす楽しみを感じてくれていたようです。



## 保護者交流会

これも恒例になりつつありますが、高校生、大学生、専門学校生、就労しているお子さんをお持ちの先輩お母さんたちから、これまでの体験談、情報、苦労話などを聞いたり、小さなお子さんのお持ちの保護者の方からは多種多様な心配、悩み事、相談などを話してもらった交流会です。7月6日(日)、1月25日(日)に行いました。7月は40名(36家族)、1月は36名(30家族)の方にご参加いただきました。

毎回、参加された保護者の方たちからは「ためになった!」という声をたくさんいただいています。

7月は私立中学について話を聞きたい保護者の方が多かったようですが、1月は特別支援学級、特別支援学校のお話を聞きたい方が多く、参加された保護者によってニーズはがらりと変わるようです。それでも、特別支援学校、私立高校、定時制高校、専門学校、大学、大学院についてよくご存知の先輩お母さんたちに参加していただいているので、つつい甘えてお任せしてしまっています。この場を借りて、いつもご参加いただき、御礼を申し上げます。

保護者にしかわからない思いや悩みを同じ境遇の親御さんたちに聞いてもらったり教えてもらって、心が少しでも軽くなってくだされば幸いです。

## 余暇支援教室

ゆうこうの家では、年々、余暇支援教室のグループ教室が増加しています。現在は、以下の5つのグループができています。

- ①小学生空手スポーツ教室(小学1～4年生)
- ②小学生空手スポーツ教室(小学5年生以上)
- ③中学生グループ活動教室
- ④高校生グループ活動教室
- ⑤女の子グループリリー

小学生グループは、主にスポーツを通して集団行動を身につけていくことが中心となります。

中高生グループは、小学生グループとは異なり、子どもたち同士の関わりを中心に、なるべく子どもたち自身で進行していくようにしています。写真は中学生グループの卓球の様子ですが、2つの台を合わせて、6人同時に卓球を行うなど、「みんなが楽しければ、どんな形でもOK」が基本。



女の子グループプリリーでは、コミュニケーションの練習や小物作り、調理など、女の子らしい活動が中心になります。

# 近況報告

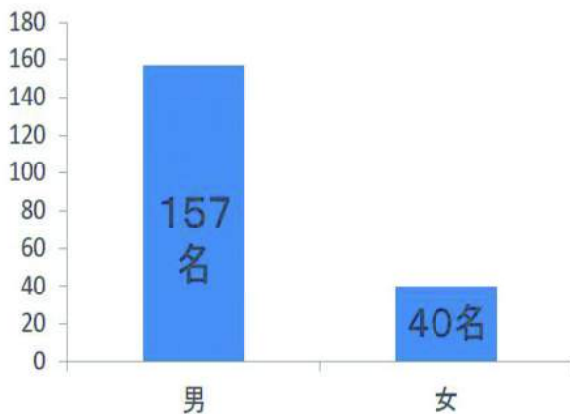


久野先生の書寿をお祝いして

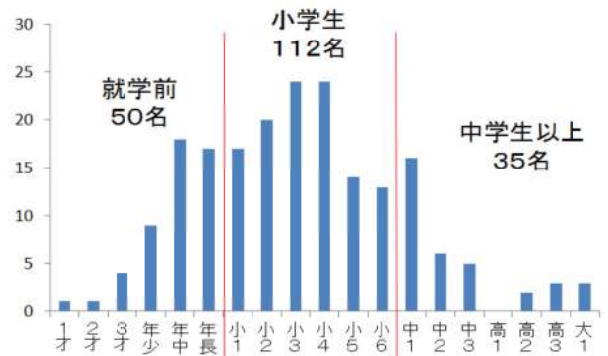
平成27年 1月現在

- 代表；魚住君枝子
- 顧問；久野能弘、魚住義明
- 療育スタッフ；7名
- 利用会員；197名

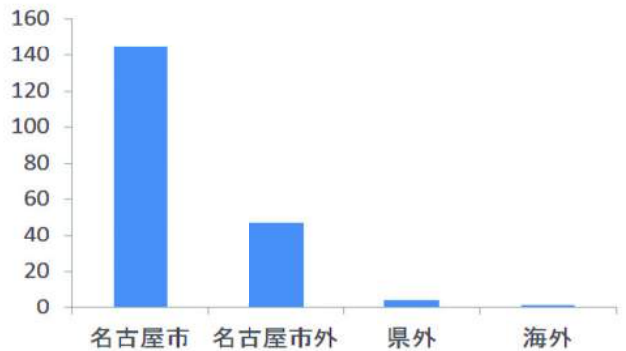
## 利用会員（男女別）



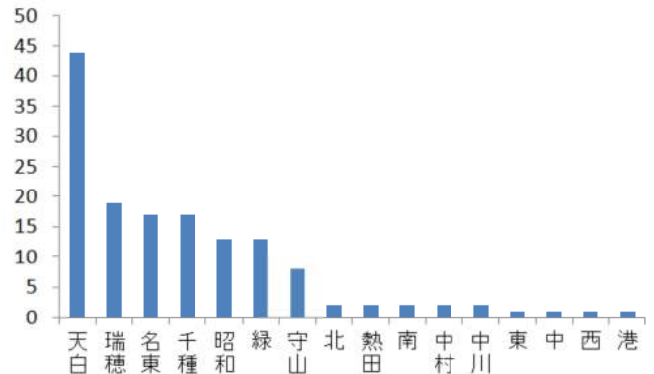
## 利用会員（学年別）



## 利用会員（地域別）



## 利用会員（地域別・名古屋市内）



お泊り会恒例の花火大会



## スタッフ紹介

宇佐美 優 (うさみ ゆう)

出身は長野県の田舎ですので、自然の中で遊んで育ちました。好きな食べ物は、甘い物です(特に最近は和菓子)。

他機関としては、小学校SCと市外のクリニックに勤めています。設立当初より行事も増えて、担当のお子さん以外の保護者の方々とお会いする機会も増えました。担当させていただいている方々と併せて、今後ともよろしくお願いたします!

小山 智子 (こやま ともこ)

愛知県東郷町出身です。もう去年のことになりますが、右手が麻痺し、約3ヶ月間とても不自由な思いをしました。その時に考えたのは、“できて当たり前”“なんて事は、本当はあり得ないのかもしれないということでした。療育を仕事にしている者として、良い経験になりました。

田中 裕美 (たなか ゆみ)

三重県四日市市の出身です。「ゆうこうの家」以外では小中学校でスクールカウンセラーや、クリニックで臨床心理士として勤務しています。好きな食べ物は苺です。疲れた時には、苺パフェが食べたくなります。

松浦 佑規 (まつうら ゆうき)

名古屋市出身です。お子さんも親御さんも、心地よい生活を過ごせるよう、サポートしていきたいと思います。

榎本 みお (えのもと みお)

三重県熊野市の出身です。今は「ゆうこうの家」以外に中学校のスクールカウンセラーとして勤務しています!趣味はパン屋めぐりです。おいしいお店があれば、教えてください☆

川崎 志帆 (かわさき しほ)

愛知県豊田市出身です。好きな色は、白です。好きなことは、テニスです。頑張りたいことは、料理と節約です。



お泊り会にて

## ゆうこうの家 代表挨拶

魚住 君枝子

ゆうこうの家通信VOL.6をお届けします。

先日NHK教育テレビ(Eテレ)のスーパープレゼンテーションで「我、自閉症に生まれて」の著者で動物学者のテンブル・グランデインさんが、世界は(自分たちのような)自閉症の人の脳を必要としていると話していました。細部に拘る見方、考え方、常人の思いつかない発想力などを指しているのだと思います。人とうまく馴染めず、本人も家族も、周りも困り感が強い、短所と思えることを数えあげたら、きりがありません。でもその子、その人の中に光っているものを掘り出し、磨く手助けが少しでもできることを願っています。

登録されている利用者さんは200名を超えました。利用者さん、会員さん、ボランティアさん、その他沢山の方々に助けられてゆうこうの家は成り立っています。

今秋、ゆうこうの家は設立10年目に入ります。小さかった利用者さんも大学生、専門学校生となりました。あと少しで社会人です。ゆうこうの家もそれに合わせて成長しないといけない時期に差し掛かっています。一層のご支援をよろしくお願いします。



「ゆうこうの家」は、発達障害を始めとする障害およびこころの問題をもつ人々に対し、療育・カウンセリングを中心とした支援活動を行い、より健やかで豊かな成長と社会への適応を支援することを目的としています。

早期療育、長期支援の視点から、自閉症、アスペルガー障害、ADHD、学習障害、その他、発達に遅れをもつ幼児期から成人期までの方に対して、ABA(応用行動分析)アプローチを中心に、言語面、学習面、社会面、運動面、不登校支援など全般的な支援を行います。

「ゆうこうの家」の“ゆうこう”は「友好・悠幸・遊好・You好」など色々なイメージを当てつけた名前です。

皆様もご自由に変換してください。なお、当センターは医療機関ではありません。臨床心理士を中心としたスタッフが療育およびカウンセリングを行います。